

平成 30 年度

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価結果報告書

令和元年 10 月

川 越 市

## 川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

国では、進展する人口減少問題に国を挙げて本格的に取り組んでいくため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年12月には、全国の現状と将来展望を示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び今後5か年の国の施策の方向性を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

本市は、東京圏にありながらも、他の地方都市と同様、少子高齢化が進行する中で人口減少期を迎えることが予測されていることから、国の地方創生の動きを好機として活かし、人口減少問題及び経済規模の縮小等への対策に積極的に取り組むため、平成28年1月、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」）を策定しました。

## 総合戦略のPDCAサイクル

総合戦略に位置付けた事業の実施にあたっては、効果的に推進するため、重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCAサイクルに基づき、適切に管理していくこととしています。

また、各施策の進捗状況や具体的な取組内容等に対する評価については、議会における意見や、川越市まち・ひと・しごと創生本部における学識経験者等の意見を聴きながら、毎年度必要な見直し等を行うこととしています。

このため、令和元年7月、川越市まち・ひと・しごと創生本部において、総合戦略（Plan）に基づく平成30年度の実施事業について、進捗状況や具体的な取組内容（Do）について報告するとともに、産業界・大学・金融機関の外部有識者より意見を聴きながら、評価（Check）を行いました。

## 平成30年度事業の総括

総合戦略は、平成27年度を初年度とする5年間を計画期間としています。計画期間のうちの4年目を終え、各事業については概ね目標通りに進捗していますが、一方で遅れが生じている事業もいくつか見られる状況となっています。

このため、総合戦略の計画期間を1年間延長することとし、現在、必要な手続きを進めているところです。これにより、目標通り進捗している事業については引き続き推進を図ることで事業目的の達成を目指すとともに、遅れが生じている事業については、その原因を分析し、課題を踏まえた上で事業を推進することで、計画期間内の着実な進捗を目指すこととします。

事業に対しては、個別及び全般に係るご意見を頂いたことから、これらのご意見も十分に参考としながら事業を進めていくこととします。

また、各事業の進捗状況を踏まえ、KPIや事業スケジュールなどについて、今後関係課と連携しながら適切に見直しを行っていくこととします。

今回の評価を踏まえた今後の取組としては、上記の内容を踏まえつつ、概ね現状の計画に基づき事業を推進することとします。

### 令和元年度 川越市まち・ひと・しごと創生本部会議

開催日 出席者  
第1回 令和元年7月8日 本部構成員:出席者 10名、欠席者 1名

第2回 令和元年7月17日 本部構成員:出席者 11名  
外部有識者:出席者 8名

埼玉縣信用金庫 川越支店 支店長	安藤 英 美
埼玉りそな銀行 川越支店 支店長	伊勢 弘 茂
東京国際大学商学部 教授	伊藤 匡 美
いるま野農業協同組合 川越地域理事代表	小倉 元 司
武蔵野銀行 川越支店 支店長	桑原 秀 恵
川越商工会議所 事務局長	鹿倉 隆
尚美学園大学総合政策学部 教授	眞下 英 二
東洋大学理工学部 教授	吉田 善 一

(五十音順、敬称略)

戦略1

～川越でしごとをする～  
地域の特性を活かし、  
若者を引きつける働く場をつくる

プロジェクト1

しごと暮らし 川越  
川越産業の活性化と若者の地元就業

プロジェクト2

ものづくり長屋 川越  
文化創造拠点の形成と創業支援

プロジェクト3

健康食レストラン 川越  
川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

戦略2

～川越で育てる～  
安心して出産・子育てができる  
環境をつくる

プロジェクト4

縁結び 川越  
若い世代を呼び込む「縁結びのまち」の魅力の創出

プロジェクト5

すくすく かわごえ  
子育て世代を支える安心の拠点づくり

戦略3

～川越を活かす～  
地域の価値を高め、  
魅力あるまちをつくる

プロジェクト6

蔵人ファンド 川越  
「蔵の町 川越」を活かし、支援するファンドの創設

戦略4

～川越を遊ぶ・感じる～  
より広域に、より魅力の高い  
交流の機会をつくる

プロジェクト7

キテミル KAWAGOE  
川越を訪れるきっかけづくり

プロジェクト8

蔵 in ガルテン 川越  
グリーンツーリズム拠点の整備

政策目標

平成31年時点で	実績値	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年
総人口350,000人以上を維持		349,378	350,223	351,654	352,433	353,115
年少人口43,000人台、		45,537	45,324	45,172	44,801	44,350
生産年齢人口213,000人台を維持		219,062	217,272	216,566	215,997	215,732

(単位:人)

## 主な実施事業

### 1 - 3 市内企業への販路拡大支援〔地方創生推進交付金事業〕

#### (1) 地域のしごと総合ポータルサイト運営

- ・地域のしごと総合ポータルサイト「川越きらり企業NAVI」について、平成30年度は、新たに新規企業2件、学生による企業取材記事6件、KOEDO E-PRO表彰企業取材記事を3件掲載し、合計75社掲載。
- ・取組を効果的に進めるため、市、県、大学・高校、関連企業等からなる「地域のしごと応援協議会」を運営、若者の市内就業率向上のため、ワーキンググループを立ち上げ活動していくことを決定。

#### (2) 販路拡大セミナー

- ・川越商工会議所の事業の一環として、売場の作り方・英会話・接客術・最新IT活用の4つのセミナーを実施し、その経費を補助した。

#### (3) 川越ものづくりブランド認定企業への販路開拓支援

- ・KOEDO E-PRO 認定企業11社に、認定製品・技術PR補助金を交付。



川越きらり企業NAVI トップページ



KOEDO E-PRO 表彰式

### 進捗に遅れの見られる事業

#### 1 - 1 若者に対する川越就業のための情報提供支援

- ・高校生に対しては労働法出前セミナーを継続的に実施できているが、大学生については、ニーズを踏まえた検討及び調整が必要。今後は、ポータルサイトを活用し、商工会議所と連携しながら、企業訪問やインターンシップに関する情報提供について検討する。

#### 1 - 2 多様な働き方の支援

- ・新規創業者などに対するアンケートの結果、既に柔軟な勤務体系の導入や、子育てと仕事の両立支援を行っており、既存の認定制度は有効ではないことが明らかになった。今後は、アンケートの結果を基に、有効な支援策やその対象範囲について検討を行う。

### 主な実施事業

#### 2 - 1 旧川越織物市場の整備

##### (1) 旧川越織物市場の整備

- ・平成28年度の実施設計、平成29年度の部材修復設計に基づき、平成30年度は整備工事に着手したが、6月に契約した整備工事が8月に契約解除、2月の再入札が参加者辞退により中止となった。

##### (2) 運営管理者検討

- ・旧川越織物市場を若手アーティストやクリエイターを対象とした文化創造インキュベーション施設として活用するため、マネージャーの具体的な業務内容や役割等について、意見や提案を求めるサウンディング型市場調査を実施した。



旧川越織物市場



完成イメージ図

#### 進捗に遅れ

- ・文化財としての価値の維持・向上と、利活用の両立を図りつつ、入札方法等についても様々な視点での検討を行い、整備工事を早期に発注できるよう準備を進める必要がある。

**主な実施事業**

**3 - 1 健康食レストラン川越の設置**

(1) 設置基本計画の策定

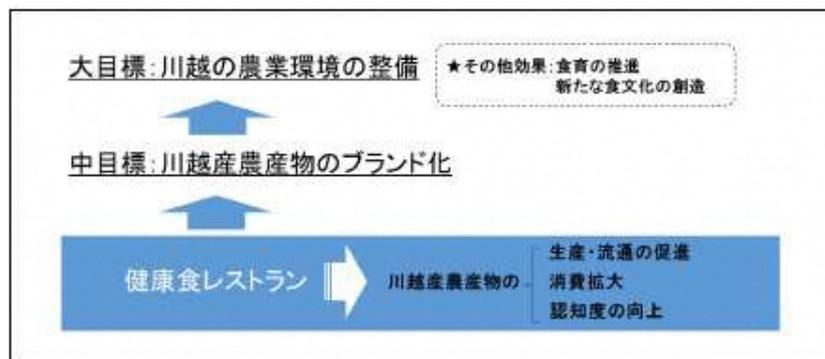
- ・健康食レストランのコンセプト、事業予定地、導入機能などの基本的事項について整理し、事業推進の基本的な指針となる基本計画を策定。

(2) レストランの設計

- ・事業予定地と決定した元町2丁目の市有施設、「元町休憩所」について、レストラン事業に必要な改修工事に係る設計指針をまとめた。

(3) レストラン運営事業者の公募条件の作成

- ・レストラン運営事業者について、公募条件を整理した。



事業コンセプト

進捗に遅れ

- ・民間に運営を行わせる公設民営の事業手法を想定し、民間の飲食事業者の参入意向に関するヒアリング調査を委託により実施したが、大きな売上規模が見込まれず採算性に不安があるなどの理由により、参入は難しいという飲食事業者の意向が大勢を占めたことから、他の事業手法についても検討する必要性が生じた。
- ・現在は、市内の飲食店に協力を求め、これらの飲食店で川越産農産物を使用したメニューを提供することにより、川越産農産物の認知度向上と消費拡大を図っていく方向で事業を進める検討を行っており、元町休憩所については、これらの飲食店や川越産農産物を使用したメニュー・レシピの紹介、試食など、本プロジェクトを訪れる多くの観光客にPRする情報発信拠点として活用する方向で検討を進める。

主な実施事業

4 - 2 出会いの仕掛けづくり〔地方創生推進交付金事業〕

(1) 小江戸川越周遊イベント「結(ゆい)」の開催

- ・若者を呼び込むとともに、周遊性を高め、消費活動を行ってもらうため、市内各所に設定された、縁結びに関連の深い神社や商店街などのスポットを巡る周遊型イベント「結(ゆい)」を開催した。



イベントチラシ

< 事業概要 >

開催期間：2019年1月28日～2019年3月26日

参加人数：2,149名

- ・参加者の約70%が40歳代以下
- ・県外からの参加者が約60%
- ・約60%が川越への来訪回数2回以上

(2) 旧山崎家別邸プロジェクションマッピングの実施

- ・川越の夜の魅力を伝えるイベント「KAWAGOE REMIX-食と音と灯りの融合-」の一環として、国の重要文化財に指定予定である「旧山崎家別邸」において、プロジェクションマッピングを実施。歴史的建造物を効果的に演出することにより、川越の新たな魅力を周知した。



旧山崎家別邸外観



プロジェクションマッピングの様子

## プロジェクト5 すくすく かわごえ

【平成 30 年度特定財源】

- ・社会資本整備総合交付金
- ・母子保健衛生費国庫補助金
- ・子ども・子育て支援交付金(国・県)

### 主な実施事業

#### 5 - 1 子育て安心施設の整備

##### (1) 実施設計の策定

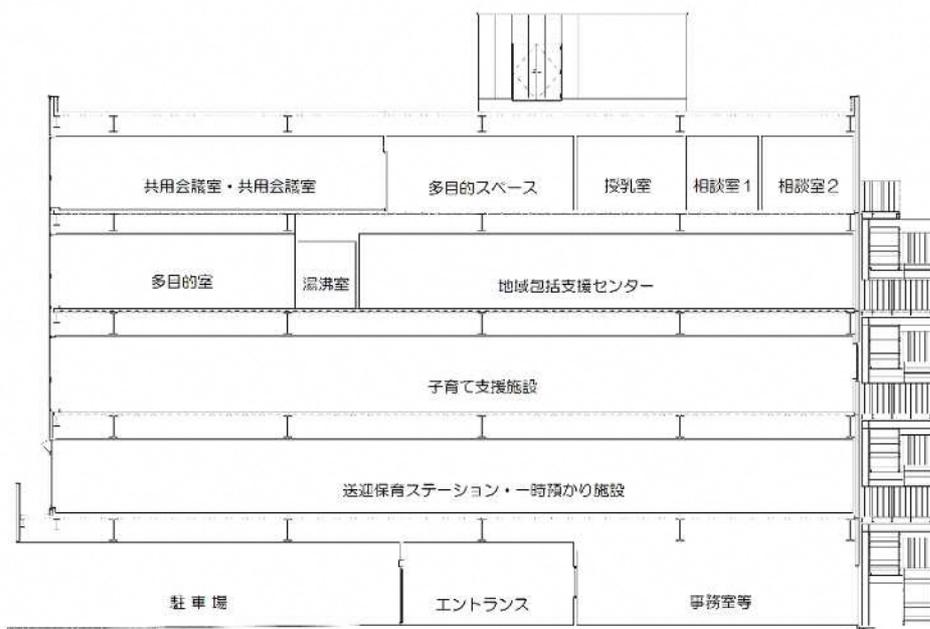
- ・本川越駅付近(中原町2丁目地内)に建設予定の、子育て支援や各種相談機能を併せ持つ子育て安心施設について、実施設計を策定。

##### (2) 管理運営方法の検討

- ・施設の管理運営に係る検討を実施。

##### (3) 住民説明の実施

- ・条例等に基づき、周辺自治会を対象とした説明会、近隣住民への個別説明を実施。



##### < 事業概要 >

建設地：中原町2丁目地内

導入機能：・保育機能(送迎保育ステーション、一時預かり) ・子育て支援施設

・乳幼児相談、産前・産後相談の場 ・健康教育健康相談の場 ・地域包括支援センター

#### 進捗に遅れ

- ・当初、導入機能の検討等に時間を要したため、予定に遅れが生じているが、平成 30 年度は実施設計を行うなど、取組が進捗している。今後、施設の管理運営方法のほか、事業を運営する事業所の選定や導入予定機能である会議室等の使用方法について、さらに検討を進める必要がある。

## 主な実施事業

### 6 - 2 くらびとファンディングの設立〔地方創生推進交付金事業〕

#### (1) くらびとファンディングポータルサイトの運営

- ・平成 28 年度に構築した、市内で実施されるクラウドファンディング企画の情報を集約し、発信する「くらびとファンディングポータルサイト」を補助事業として引き続き運営。

#### (2) クラウドファンディング手数料補助

- ・クラウドファンディング企画の立案者が、クラウドファンディング事業者に支払う手数料の一部を補助する取組を実施。

#### (3) クラウドファンディングセミナーの開催

- ・クラウドファンディング企画の掘り起しのため、クラウドファンディング事業者による講演会、トークセッションを開催。

平成 30 年度実施されたクラウドファンディング企画



#### 【プロジェクト概要】

自宅を改装してギャラリーを開き、社会とつながるアートの輪を広げたい  
 目標金額： 650,000円  
 支援額： 1,679,000円  
 支援者数： 127人

#### 【プロジェクト概要】

三輪自転車のコーヒー屋台で地域と人のつながりが生まれるような場所づくりを目指す  
 目標金額： 30,000円  
 支援額： 206,000円  
 支援者数： 35人

### 進捗に遅れの見られる事業

#### 6 - 1 蔵まちづくり再生基金の設立

- ・制度の検討や関係機関との調整に時間を要し、平成 30 年度設立予定であったスケジュールに遅れが生じている。

#### 6 - 3 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築

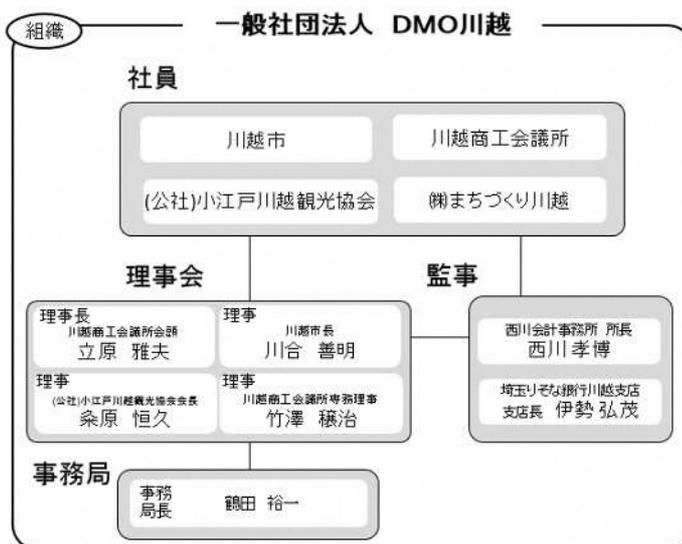
- ・関係機関との調整等に時間を要しているが、市が所管する歴史的建造物のカルテを作成し、情報発信に必要な取組を行った。資金調達や総合調整を行う人材、また、伝統構法の技能を有する職人の育成についても検討が必要。

**主な実施事業**

7 - 1 「おもてなし川越」の創設〔地方創生推進交付金事業〕

(1) 「一般社団法人 DMO 川越」の創設

- ・観光まちづくりを推進するため、DMO 機能を有する団体である「一般社団法人 DMO 川越」を平成 30 年 11 月に創設した。創設にあたっては、川越市、川越商工会議所、公益社団法人小江戸川越観光協会、株式会社まちづくり川越の 4 団体による連携のもと、組織及び事業に関する各種検討を行い設立した。
- ・設立後は、観光地域づくりに必要な調査研究、戦略策定の検討を進めるため、マーケティング調査を実施した。



一般社団法人 DMO 川越組織概要

進捗に遅れの見られる事業

7 - 1 「おもてなし川越」の創設〔地方創生推進交付金事業〕

- ・組織の創設が当初の予定から遅れていたが、平成 30 年度に達成することができた。今後は、マーケティング調査、ワーキンググループの運営などを通じ、観光地域づくりに必要な戦略を策定する。

7 - 2 コンベンションの誘致

- ・コンベンション誘致という当初のスケジュールに遅れが生じている。総合戦略のスケジュール上は DMO が設立次第コンベンション事業を担う予定であったが、現在の DMO の状況等に鑑み、関係課や DMO を含む関連組織と連携を図りながら、今後の推進体制などについて検討していく必要がある。

7 - 4 「日本遺産」による魅力発信事業

- ・日本遺産について、効果や継続性、認定事業の傾向や認定自治体の状況等を精査の結果、申請の継続は見送ることとした。検討作業で蓄積した調査成果等は、別事業へ活用していく。

主な実施事業

8 - 1 グリーンツーリズム拠点の整備

(1) 農業ふれあいセンター改修に係る基本設計、地盤調査

・「蔵 in ガルテン川越」の核となる農業ふれあいセンターの改修、バーベキュー施設整備に係る基本設計、地盤調査を実施。

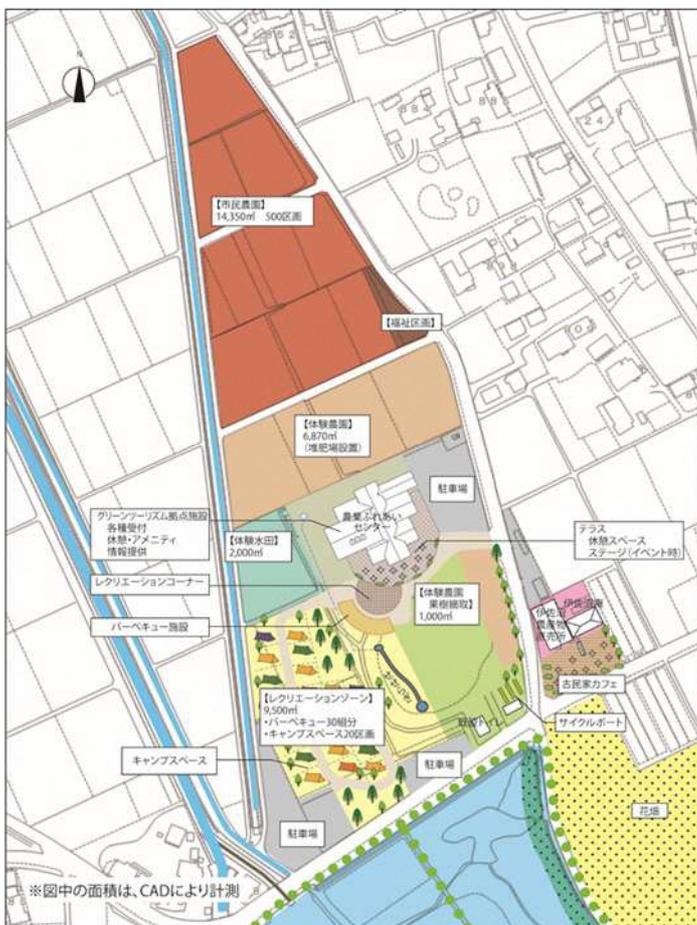
(2) 農園拡張に向けた測量

・農園拡張に伴う改良工事に必要な測量調査を実施。

(3) 農業体験事業の充実

・新たに枝豆栽培体験を実施。また前年度に引き続き試験的に東京都内の小学生による田植え・稲刈り体験を実施。

「蔵 in ガルテン川越」における配置案



< 主な整備内容 >

- ・農業ふれあいセンター改修整備
- ・バーベキュー施設整備
- ・体験農園拡張整備
- ・市民農園拡張整備
- ・キャンプスペース整備

等



## 戦略1 ～川越でしごとをする～ 地域の特性を活かし、若者を引きつける働く場をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
市内事業所従業者数(人/年)	目標値	-	127,523	127,523	127,523	127,523
	実績値	127,523	-	136,202	141,082	-
市内総生産額(百万円/年)	目標値	1,087,269	1,107,240	1,127,211	1,147,182	1,167,154
	実績値	1,067,298	1,133,468	1,092,161	1,182,713	-

上記数値は、各年度の前々年度に調査した値で、国・県が公表している最新の値を掲載

### プロジェクト1 しごと暮らし川越 川越産業の活性化と若者の地元就業

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.若者に対する川越就業のための情報提供支援		目標を下回った			抜本的な改善検討		
2.多様な働き方の支援		抜本の見直しを要する			抜本的な改善検討		
3.市内企業への販路拡大支援		ほぼ目標通り			改善し継続		
4.既存産業に対する環境整備		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
市が主催する市内高校・大学への就職応援講座の実施数(件/年)	目標値		4	7	12	16	20
	実績値	4	4	7	7	10	
創業支援の利用者数(人/年)	目標値		50	75	100	125	150
	実績値	25	87	99	134	92	

#### 主な意見

・大学では2～3月頃に就活に大きな動きが見られるため、その時期に情報提供してもらえる仕組みがあるとよい。

また、第2新卒者が就職課を訪れることが多いが、そうした人ほど地元で働きたいというニーズが強いため、そこにアプローチすることも重要だと思う。その際には、川越に多く所在する「中小企業」で働くことの魅力、川越で働くことの魅力についても併せてアピールしてほしい。

・大学生はどうしても都心に興味を抱く傾向にある。最近では就職に関するセミナーが多いため、市が実施するのは埋もれてしまう。メニューの組み立てとして、就職に関する基本的な情報はもちろんだが、地元で働くということについて、前面に押し出して実施するのがよいのではないかと。

・大学では現在、留学生が増加しており、日本で就職するケースが増えている。企業側としても、留学生の採用に積極的なところもある。留学生の定住に関する施策などはあるか。他の大学でも留学生は増加していると思うので、そうした方に対して、川越に住んで働くことの魅力をアピールしてほしいと思う。

### プロジェクト2 ものづくり長屋川越 文化創造拠点の形成と創業支援

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.旧川越織物市場の整備		目標を下回った			改善し継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
文化創造インキュベーション施設入居率(%)	目標値		-	-	-	-	100
	実績値	-	-	-	-	-	
立門前線の歩行者・自転車通行量(人)	目標値		3,915	3,915	3,915	3,915	4,500
	実績値	3,915	3,200	3,696	3,802	3,394	

プロジェクト3 健康食レストラン 川越 川越産農産物の魅力を広めるブランドづくり

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.健康食レストラン川越の設置		抜本の見直しを要する			抜本的な改善検討		
2.川越産農産物のブランド化事業		ほぼ目標通り			継続		
3.川越伝統野菜の再興		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
農産物直売所の総販売額 (百万円/年)	目標値		628	645	662	679	700
	実績値	611	667	688	705	724	
川越産農産物を使ったレシピの 累計開発数(件)	目標値		5	20	40	50	50
	実績値	0	5	110	110	110	

戦略2 ~川越で育てる~ 安心して出産・子育てができる環境をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
子育て世帯の転入数(世帯/年)	目標値	1,015	1,015	1,015	1,015	1,015
	実績値	1,015	1,069	1,120	1,055	969

プロジェクト4 縁結び 川越 若い世代を呼び込む「縁結びのまち」の魅力の創出

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.縁結びの支援		ほぼ目標通り			継続		
2.出会いの仕掛けづくり		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
デートマップに掲載されたスポットの 累計数(件)	目標値		17	27	37	47	60
	実績値	17	17	52	100	135	
縁結び関連の事業・イベントの 実施数(件/年)	目標値		3	7	11	15	20
	実績値	2	3	7	6	9	

主な意見

・戦略2について、プロジェクト4は出会いに関する事、プロジェクト5は子育てに関する事となっているが、その中間をつなぐ取組みがあるとよいのではないか。

プロジェクト5 すくすく かわごえ 子育て世代を支える安心の拠点づくり

具体的施策							
施策名			進捗状況			今後の方向性	
1. 子育て安心施設の整備			目標を下回った			継続	
重要業績評価指標 (KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
保育園待機児童数(人/年)	目標値		60	46	32	18	0
	実績値	74	67	64	73	20	
地域子育て支援拠点事業の利用者数(人/年)	目標値		93,251	96,718	100,265	104,002	108,105
	実績値	69,361	94,507	98,200	94,469	90,815	

戦略3 ~川越を活かす~ 地域の価値を高め、魅力あるまちをつくる

数値目標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
定住意向率(%)	目標値		89.0	89.2	89.5	89.7	90.0
	実績値	88.7	88.1	-	-	83.7	
空き家率(%)	目標値		-	-	-	-	11.0
	実績値	11.0	-	-	-	-	

上記数値に係る次回調査は、平成30年度実施予定

プロジェクト6 蔵人ファンド川越 「蔵の町川越」を活かし、支援するファンドの創設

具体的施策							
施策名			進捗状況			今後の方向性	
1. 蔵まちづくり再生基金の設立			目標を下回った			継続	
2. くらびとファンディングの設立			ほぼ目標通り			継続	
3. 歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築			目標を下回った			継続	
重要業績評価指標 (KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
蔵まちづくり再生基金の活用累計数(件)	目標値		-	-	-	-	1
	実績値	-	-	-	-	-	
くらびとファンディング活用累計数(件)	目標値		-	1	4	7	10
	実績値	-	-	0	3	6	

## 戦略4 ～川越を遊ぶ・感じる～ より広域に、より魅力の高い交流の機会をつくる

数値目標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	
観光客数(人/年)	目標値	6,664,500	6,750,000	6,860,000	6,970,000	7,080,000	
	実績値	6,579,000	6,645,000	7,040,000	6,628,000	7,342,000	
外国人観光客数の割合(%)	目標値		1.3	1.5	1.7	1.9	2.2
	実績値	1.1	1.7	2.4	3.0	3.8	

### プロジェクト7 キテミル KAWAGOE 川越を訪れるきっかけづくり

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.「おもてなし川越」の創設		目標を下回った			改善し継続		
2.コンベンションの誘致		目標を下回った			改善し継続		
3.フィルムコミッション事業		ほぼ目標通り			改善し継続		
4.「日本遺産」による魅力発信事業		抜本の見直しを要する			抜本的な改善検討		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
ロケ地として撮影された件数(件/年)	目標値		66	75	84	93	105
	実績値	57	33	12	39	39	
観光客の平均消費額(円)	目標値		4,233	4,300	4,600	4,800	5,000
	実績値	4,166	4,073	4,045	4,204	3,830	

#### 主な意見

・観光客数及び外国人観光客の割合は増加しているが、観光消費額は目標値を下回っており、定住意向率も下がっている。このことから、観光客が増えて川越が住みにくくなっていると感じている住民の方が増えているのではないかと。健康食レストランにしても、上手くやれば儲かりそうなのに、参入意向がないという。これは、人が多くて栄えているように見える川越が発しているシグナルではないか。

DMOが立ち上がったこともあるし、一番街に集中している観光客を分散させるなど、今のうちに手を打ってほしい。

・一番街は交通量が多く、小さな子どもを連れて歩くのは不安を感じる。このことから、狭い範囲でわずかな消費しかない観光スタイルにならざるを得なくなっているのではないかと。

### プロジェクト8 蔵in ガルテン 川越 グリーンツーリズム拠点の整備

具体的施策							
施策名		進捗状況			今後の方向性		
1.グリーンツーリズム拠点の整備		ほぼ目標通り			継続		
2.伊佐沼公園など周辺施設との連携		ほぼ目標通り			継続		
重要業績評価指標(KPI)		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
農業体験事業参加者数(人/年)	目標値		1,108	1,205	1,302	1,399	1,500
	実績値	1,011	965	1,403	1,628	1,846	

#### 主な意見

・「蔵inガルテン」に落ち葉活用施設を導入し、市民農園の利用者や市民に還元していくべきではないか。

・「蔵inガルテン」に係る施設整備にあたっては、汚水の排水等、営農環境に配慮する必要がある。





川越市シンボルマーク